

1 単元指導計画の事例（出題範囲の一部）

(1) 単元について

対象学年	高等学校 第3学年
学習指導要領	読むこと (ア) (エ)
科目	リーディング
使用教科書	〇〇〇〇 Reading
単元名	Get Ready 7 パラグラフの構成と展開3 (全4時間)
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> Reading Skill－[比較・対照]－の構成を意識し、連結語句や二者の関係を示す文章を手掛かりに主体的に文章を読み進めている。 文脈や文化的な背景知識を活用し、未知の語の意味を推測しながら積極的に文章を読み進めている。 (コミュニケーションの関心・意欲・態度) 正しい発音、連音、ストレス、ブレスグループ、リズム、イントネーションに留意して音読したり暗唱したりすることができる。 読み取ったパラグラフの内容を既習の語句を用いたり、言い換えたりするなどして、内容や自分の解釈が聞き手に伝わるように適切に音読したり、retell することができる。 (表現の能力) 意味のまとまりごとに読み進め、連結語句や二者の関係を示す文章を手掛かりに何と何が比較・対照されているのか、類似点は何か、内容を正確に把握することができる。 [比較・対照]のパラグラフの構成に注意して、主題文や類似点のみで展開されている支持文のつながりを整理し、論理展開を正しく理解することができる。 (理解の能力) 連結語句、コロンの、セミコロン、二者の関係を示す語句や文章など、Reading Skill－[比較・対照]－の構成と展開を意識して読む技術を身に付けている。 関係副詞・倒置・同格の用法について理解し定着している。 (言語や文化についての知識・理解)
配慮事項	<p>範例文の学習を通じ、Reading Skill－[比較・対照]－を理解させ提出させる。また、PRACTICE においては Reading Skill を活用して生徒が主体的に読み進められるよう配慮し、最終的にパラグラフの内容を retell できるよう、英文に触れる機会を多くし、内容理解の訓練を繰り返す。</p>
参考資料	

(2) 単元の評価規準

	ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての 知識・理解
むこと の評価規	コミュニケーションに関心をもち、英語を読む言語活動を積極的に行い、コミュニケーションを図ろうとする。	文章の内容や自分の解釈が聞き手に伝わるように効果的に音読するなどして表現する。	さまざまなジャンルの英語を読んで、必要な情報や書き手の意向などを理解する。	英語を読むこと学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。
単元 における 評価規準	(言語活動への取組) ・ 文章の中でポイントとなる語句や文を手掛かりに主体的に読んでいる。 (コミュニケーションの継続)	(正確な音読) ・ 正しいリズムやイントネーションなどを用いて音読ができる。 (適切な発表) ・ 文章の内容や自分の解釈が聞き手に伝わるように retelling することができる。	(正確な読み取り) ・ ポイントとなる語句や文に注意して、パラグラフの内容を正確に把握することができる。 (適切な読み取り) ・ パラグラフの構成や展開などに注意して、全体の概要を把握することができる。	(言語についての知識) ・ [比較・対照]の構成と展開を意識して読む技術を身に付けている。 ・ 句読法、関係副詞、倒置、同格の用法を知っている。 (文化についての理解)
学習活動 における 具体の 評価規準	(言語活動への取組) ① [比較・対照]の構成を意識し、連結語句を手掛かりに主体的に読み進めている。 (コミュニケーションの継続)	(正確な音読) ① 正しい発音、連音、ストレス、ブレスグループ、リズム、イントネーションに留意して、音読ができる。 (適切な発表) ② 読み取ったパラグラフの内容を既習の語句を用いたりパラフレーズするなどして、 retelling することができる。	(正確な読み取り) ① 意味のまとまりごと読み進め、何と何が比較・対照されているのか、類似点は何か、正確に把握することができる。 (適切な読み取り) ② 主題文と類似点のみで展開されている支持文のつながりを整理し、全体の概要を理解することができる。	(言語についての理解) ① 連結語句、コロン、セミコロン、対比の対象、類似点について用法を理解している。 ② 関係副詞(when)、倒置(So+V+S)、同格の用法を知っている。 (文化についての理解)

(3) 指導と評価の計画 (全4時間)

時	学習目標	学習活動	評価規準				評価方法	指導・援助
			ア 関 心	イ 表 現	ウ 理 解	エ 知 識		
1	<p>○ Reading Skill - [比較・対照]-の構成と展開を意識して読む技術を身に付けている。</p> <p>○意味のまとまりごとに読み進め、何と何が比較・対照されているのか、類似点は何か、正確に把握することができる。</p>	<p>【Get Ready 7 範例文】</p> <p>○教科書を閉じたままで英語による導入を聴き、口頭の英語による質問に答える。</p> <p>○教科書を閉じたまま、範例文の CD を聴き、口頭の英語による質問に答える。</p> <p>○教科書を開けて再度 CD を聴く。</p> <p>○新出単語及びキーワードの発音練習を行う。</p> <p>○Reading Skill の解説と連結語句の意味の確認を行う。</p> <p>○範例文の構成と展開について Reading Skill に基づき確認と解説を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロン、セミコロン、二者の関係を示す語句や文章などの確認をする。 have ... in common both ... like ... ・ 主題文と支持文のつながりを整理する。 <p>○次回の予告をする。</p>						<p>・ 正月・クリスマスに関連した簡単な題材を選ぶ。</p> <p>・ 質問内容はパラグラフ構造とは関係ないものとする。</p> <p>・ 予習において自分のできる範囲で取り組ませる。</p> <p>・ Reading Skill の定着を徹底する。</p>
2	<p>○ Reading Skill - [比較・対照]-の構成を活用し、連結語句や二者の関係を示す文章を手掛かりに主体的に文章を読み進める。</p>	<p>【Get Ready 7 範例文】</p> <p>○前時の復習として、範例文の内容について口頭で英語による質問に答える。二者の類似点に特に言及する。</p> <p>○文法的・構造的に難しい英文や語彙の確認と解説を行う。</p> <p>in the company of ... begin(start) ... with ~ hundreds of ...</p> <p>○範例文をできるだけ速く黙読し、時間を記録する。</p> <p>○範例文を聴き、その場で区切られた sense group ごとに意味の確認をする。</p> <p>○再度、範例文をできるだけ速く黙読し、時間を記録する。</p> <p>○範例文の訳例を配布し、全体の意味の確認をさせる。</p> <p>○教科書を見ながら CD に合わせて全員で音読練習を行う。</p> <p>○確認プリントを配布する。</p>	①		①	<p>活動の観察</p> <p>活動の観察</p> <p>後日プリント チェック</p>	<p>・ 質問内容は、パラグラフ構造と関係のあるものとする。</p> <p>・ 予習で単語等の意味調べをさせておく。</p> <p>・ 単語等の意味を忘れた場合は類推させる。</p> <p>・ 途切れないよう配慮する。</p> <p>・ 最初より速く読むよう促す。</p> <p>・ 次回提出。</p>	

3	<p>○[比較・対照]のパラグラフの構成に注意して、主題文や支持文のつながりを整理し、全体の内容を適切に理解することができる。</p> <p>○関係副詞、倒置、同格の用法について理解し定着している。</p>	<p>【Get Ready 7 PRACTICE】</p> <p>○教科書を閉じたままで英語による導入を聴き、口頭の英語による質問に答える。</p> <p>○教科書を閉じたまま、本文の CD を聴き、口頭の英語による質問に答える。</p> <p>○教科書を開けて再度 CD を聴く。</p> <p>○新出単語及びキーワードの発音練習を行う。</p> <p>○本文の構成と展開について Reading Skill に基づき確認と解説を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロン、セミコロン、二者の関係を示す語句や文章などの確認をする。 similarities between ... both ... neither ... just as ... the same ・ 主題文と支持文のつながりを整理する。 <p>○文法的・構造的に難しい英文や語彙の確認と解説を行う。</p> <p>同格 関係副詞 when 倒置(..., so + V + S)</p> <p>○次回の予告をする。</p>		②	活動の観察	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大統領制・議院内閣制、リンカーン・ケネディの業績に関連した簡単な質問とする。 ・ 質問内容はパラグラフ構造とは関係のないものとする。 ・ 予習において自分のできる範囲で取り組ませる。 ・ 段落全体を見通すことを意識させる。 ・ 文法事項等は既出であるため確認を主にし、生徒に考えさせる。
4	<p>○音声面での正確さに留意するとともに読み取ったパラグラフの内容や自分の解釈が聞き手に伝わるよう retell することができる。</p>	<p>【Get Ready 7 PRACTICE】</p> <p>○前時の復習として、本文の内容について口頭で英語による質問に答える。二者の類似点に特に言及する。</p> <p>○本文をできるだけ速く黙読し、時間を記録する。</p> <p>○本文を聴き、その場で区切られた sense group ごとに意味の確認をする。</p> <p>○再度、本文をできるだけ速く黙読し、時間を記録する。</p> <p>○本文の訳例を配布し、全体の意味の確認をさせる。</p> <p>○教科書を見ながら CD に合わせて全員で音読練習を行う。</p> <p>○[本文の構成と展開]の表を用い、retell できるように本文を読み込む。</p> <p>○ペアを組み、[本文の構成と展開]の表を用いパートナーに retell する。</p> <p>○確認プリントを配布する。</p>	①	①	活動の観察	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質問内容は、パラグラフ構造と関係のあるものとする。 ・ 単語等の意味を忘れた場合は類推させる。 ・ 途切れないよう配慮する。 ・ 最初より速く読むよう促す。 ・ 机間指導により発音をチェックする。 ・ 話し手・聞き手ともにテキストを見ない。 ・ 次回提出
			① ②	②	活動の観察 後日プリント チェック	

2 単位時間の授業展開例

(1) 本時のねらい

- ・正しい発音、連音、ストレス、ブレスグループ、リズム、イントネーションに留意して音読したり暗唱したりすることができる。
- ・読み取ったパラグラフの内容を既習の語句を用いたり、言い換えたりするなどして、内容や自分の解釈が聞き手に伝わるように適切に音読したり、**retell** したりすることができる。

(2) 本時の位置

4 / 4

(3) 展開案

過程	学習活動	評価について	指導・援助
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の復習（同じテキストを継続） ・ 本文の内容について口頭で英語による質問に答える。二者の類似点に特に言及する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 質問内容は、主題文と支持文のつながり関係のあるものとする。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ テキストの速読練習を行う。 ・ 個々にできるだけ速く黙読をする。 ・ 所要時間を記録する。 ○ 本文を聴き、その場で区切られた sense group ごとに意味の確認をする。 ○ テキストの速読練習を行う。 ・ 再度、本文をできるだけ速く黙読する。 ・ 所要時間を記録する。 ○ 本文の訳例が配布される。 ・ 全体の流れの確認をする。 ・ 細部の意味の確認をする。 ○ 教科書を見ながら CD に合わせて全員で音読練習を行う。 ○ [本文の構成と展開]の表を用い、retell できるよう本文を読み込む。 ○ ペアを組み、[本文の構成と展開]の表を用いて、パートナーに retell する。 	<p>イー① 意味のまとまりごとに読み進め、何と何が比較・対照されているのか、類似点は何か、正確に把握することができる。</p> <p>イー② 正しい発音、連音、ストレス、ブレスグループ、リズム、イントネーションに留意して音読できる。</p> <p>イー② 読み取ったパラグラフの内容を既習の語句を用いたりパラフレーズするなどして、retelling することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単語等の意味を忘れた場合は類推させる。 ・ 前もって区切っていないので、本文を聴くことに集中させる。 ・ sense group ごとに個々の生徒に順番に当てていき、途切れないよう配慮する。 ・ 最初より速く読むよう促す。 ・ 音声面と意味の両方に留意させる。 ・ 机間指導により発音をチェックする。 ・ 話し手・聞き手ともにテキストを見ない。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 確認プリントが配布される。 ○ 次回の予告をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 文法、イディオム中心の内容とする。 ・ 次回までの宿題とする。